

Vol.14

福祉たすけあい基金BOOK

第22期助成団体紹介



公益財団法人

かながわ生き生き市民基金

Kanagawa Lively Citizens Fund

目 次

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金	1
福祉たすけあい基金/助成	1
第1期～22期までの申請・助成実績	2
第22期福祉たすけあい助成(通常助成) 選考講評	3
助成団体紹介	
いちはつ処	4
NPO法人 あかり	4
NPO法人 街カフェ大倉山ミエル	5
NPO法人 いごこちよか	5
NPO法人 ハイテンション	6
THEアート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊	6
特定非営利活動法人 ぐるーぷ・ちえのわ	7
特定非営利活動法人 スペースナナ	7

「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金」

寄 付 募 集

●基金の目的

かつては総中流社会と云われた日本社会ですが、この20年余りの間に、格差・貧困が加速度的に広がっています。子どもを取り巻く状況が悪化し、「貧困の連鎖」が起こっています。

この基金では、市民が連帯し問題解決をめざす活動～子ども食堂（コミュニティ食堂）・学習支援活動・フードバンク活動など～を応援します。

●基金のしくみ

- ・1口1万円
- ・基金への寄付が100万円を超えた段階で、公募します。
2022年・2023年・2024年に実施しました。

●お申込み方法

- ・ゆうちょ銀行から振込
記号番号 00220-6-102971
 ザイ) カナガワイキイキシミンキキン
- ・ゆうちょ銀行以外から振り込み
ゆうちょ銀行 ○二九店 (ゼロニキュウ店)
当座 0102971 ザイ) カナガワイキイキシミンキキン



かながわ生き活き市民基金

◆私たちのミッション

＜投資して利潤を稼ぐことが経済＞という考えが現代社会に蔓延しています。人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。

しかし一方で、豊かな生活をつくるのが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、子どもや障がいを持つ人々などが生きにくい社会になっています。

「かながわ生き活き市民基金」は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を抛出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆私たちの事業・活動

福祉たすけあい 助成 (通常型)	福祉たすけあい 助成 (スタート助成)	子どもの貧困に立ち 向かう市民活動応援 助成	市民活動応援 フォーラム
ユウコープ子ども 応援助成	JA横浜子どもの 未来支援助成	遺贈・生前贈与相談 /受付	市民活動応援講座

福祉たすけあい基金

福祉たすけあい基金は

福祉たすけあい基金は、市民が主体となり活動を起こし、たすけあう関係を育て、おおぜいが支えあう地域をめざし、2003年から生活クラブ組合員が始めた生活クラブの集金システムを使う寄付活動です。2013年から公益財団法人かながわ生き活き市民基金の助成事業と財団運営費として寄付されてきました。ひとりの大きな寄付ではなく、おおぜいの市民の参加力でまとまった額の基金を創りだしているのが特徴です。

そして2024年10月から「生活クラブまちづくり基金」に形が変わり、意志ある組合員の寄付は、管理運営団体「生活クラブまちづくり基金」を経てかながわ生き活き市民基金に寄付されます。

市民基金では、生活クラブを通じた「毎月100円の組合員寄付」のほかに、直接市民基金へ寄付も受けつけています。直接寄付の利点は、①「毎月100円」より多くの寄付で市民活動を応援できる、②公益法人の税制優遇を活用できること、などがあります。

福祉たすけあい助成は

助成は、①通常型の助成と、②比較的小さなアソシエーション等の活動の立ち上げや、活動初期の基盤づくりを応援する「スタート助成」をそれぞれ1回ずつ行っています。

第9期からは「スタート助成」を既存団体の新規事業立ち上げにも広げ、これによって既に地域で活動実績を持つ団体が、これまでの実践を通して見えてきた新たな地域課題の解決にも活用が広がっています。

また、申請時相談を必須としているため、申請書の書き方のアドバイスのみならず、申請者にとっては事業・運営の考え方の整理などに役立てられています。

福祉たすけあい基金にはこれまで378 団体から約1億6,313万円の申請があり、地域で公益的な福祉たすけあいの市民活動を行う278団体へ約8,400万円を助成しました。

第1期～22期までの申請・助成実績

赤字はスタート助成



第1期～22期までの申請・助成実績				赤字部分はスタート助成	
助成時期		助成団体数	助成金額 (円)	申請団体数	申請金額 (約万円)
第1期	2014年4月 助成	9	4,514,100	34	2400
第2期	2015年2月 助成	12	3,944,950	17	700
第3期	2015年5月 助成	11	3,822,000	20	1084
第4期	2015年8月 助成	13	3,389,131	20	1000
第5期	2016年3月 助成	6	1,667,633	12	390
第6期	2016年8月 助成	7	3,245,769	18	640
第7期	2017年3月 助成	10	2,493,230	16	490
第8期	2017年8月 助成	13	4,000,000	20	1000
第9期	2018年3月 助成	16	4,346,100	24	740
第10期	2018年8月 助成	11	3,560,382	19	859
第11期	2019年3月 助成	14	4,440,364	15	508
第12期	2019年8月 助成	11	3,941,072	13	611
第13期	2020年3月 助成	12	3,266,759	13	393
第14期	2020年11月 助成	8	3,275,903	10	544
第15期	2021年3月 助成	16	5,000,000	17	581
第16期	2021年8月 助成	11	3,996,881	11	461
第17期	2022年3月 助成	18	4,998,871	21	716
第18期	2022年9月 助成	17	4,000,000	21	999
第19期	2023年3月 助成	19	4,700,000	20	642
第20期	2023年9月 助成	15	4,000,000	15	523
第21期	2024年3月 助成	19	4,292,000	21	599
第22期	2024年9月 助成	8	3,285,176	10	433
合 計		276	84,180,321	378	16,313

福祉たすけあい助成申請事業活動の特徴

第1期から第22期までのべ276団体に助成を行ってきた中で、子ども食堂や学習支援など、子ども・若者の貧困に関する活動を行っている団体や、高齢者福祉に関する活動団体が目立っています。また、障がいへの認知を広げる活動や障がいを持つ方の社会参加を支援する活動、ひきこもりのピアサポート活動からの申請もあり、人々に寄り添いたすけあいを進める幅広い活動に申請が広がっています。

市民活動の先駆性・有効性・持続性・参加性、そして社会を変える意気込みに期待し選考に当たっては、事業・活動の先駆性や有効性、持続性と共に、広く地域の人々や団体と連携し、時間・知恵・労力・お金などを拠出し合い、市民が主体となり地域の課題を解決する参加性が重視されます。また市民事業・活動を生み出し、育成し、事業拡大するだけでなく、市民の実践を根拠にアドボカシー活動を行い、社会を変えていく志が拡がることが期待されています。

第22期福祉たすけあい助成(通常型) 選考講評

選考委員長 手塚 明美
 (一社)ソーシャルコーディネートかながわ理事長
 (公財)かながわ生き生き市民基金理事

第22期福祉たすけあい助成の選考が終了しました。これまでのコロナ禍後の緊急支援的な申請は一段落したためなのか、今期応募は10件、申請総額4,325,976円と落ち着いた申請状況となりました。申請内容には、「協力者・支援者を広げる」、「参加者を広げる」、「認知を広げる」、「活動そのものを広げる」など、「広げる」がキーワードになっている活動が多くあり、その課題を解決するために、新しく斬新な手法を編み出すといった、チャレンジ性の高い申請書が届きました。選考のための評価のポイントにも、先駆性や参加性は大きく考えられていますので、読み進めていく時間も短く感じていました。



中には、持続性や有効性などに課題も見受けられる申請もあり、選考会での意見のまとまりには大変時間を費やすこととなりました。結果、申請通りの助成が6件、一部助成が2件となりました。残念ながら今回は見送りとなった団体の皆様の先駆性やチャレンジ性は目を引くものがありました。次の機会への再チャレンジを期待しています。

選 考 委 員

委員長	手塚 明美	一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 理事長
委員	田中 夏子	イタリア協同組合研究者/ 農業者
	川岸 卓哉	弁護士/(特非)原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長
	友澤ゆみ子	(特非)ピッピ・親子サポートネット 理事長
	高村 文子	三浦市民交流センター ニナイテ センター長
	伊藤 保子	元(特非)さくらんぼ 理事長
	矢野 克子	生活クラブ生活協同組合神奈川 副理事長
	齊藤 輝美	さがみ生活クラブ生活協同組合

いちはつ処（厚木市）
代表 木村 由利子 42,000円

【助成した事業・活動】

地域の高齢者が集う場を作り、地域交流、健康維持の場を作る活動

【団体紹介】

★設立年月
2021年7月



★団体の目的・活動内容

鳶尾老人憩の家で毎週金曜（10：00～16：00）の午前・午後に、東洋医学ミニ講座や映画鑑賞・歌声・野草生花・茶道・手作り等、ミニサークルを作り、日常の活性化を目的としている。

団体情報
（非公開）



【助成を受けて…の思い・メッセージ】

「いちはつ処」としての活動は4年目であり、初期に作ったくちらしの内容も定番として継続しており、参加者も少しずつ増え、内容の評価も高くていただいている。なお「2025年問題」としての超高齢化社会を生きがいを持って生活するための課題である、機能維持・健康情報共有の場として存続し続けていきたい。そのためには、自然治癒力の学び「東洋医学って何？」の講座などにより、加齢による身体の変化を把握しつつ、健康維持のセルフケアを広めていきたい。



NPO法人 あかり（横須賀市）
理事長 森田 佳重 1,000,000円

【助成した事業・活動】

リカバリーカレッジ事業

（当事者と支援者が共にリカバリーやメンタルヘルスについて学びあう場を作る活動）

【団体紹介】

★設立年月
2024年5月（法人設立年月日）



★団体の目的・活動内容

「横須賀の街にあかりを灯す」を理念に、「リカバリーカレッジヨコスカ」と「法人後見」を二本の柱として、避けられない社会のストレスや孤立など地域の課題を解決できる地域づくりを目指しています。

★団体情報

住所：横須賀市汐入町2-4-1 青柳ビル3F
TEL：050-8881-0022
Mail：npo-akari@akari-yokosuka.com
URL：<https://akari-yokosuka.com/>

【助成を受けて…の思い・メッセージ】

この度は、私たちの活動にご理解と助成をいただき、心より感謝申し上げます。

リカバリーカレッジは、「心の元気を回復する方法を発掘するために共に学び合う場」です。心の元気を回復する方法は人によって異なりますが、心地よい安心な空間で学び合うことで相乗効果が生まれ、自分にとってのリカバリーの方法を見つけることができます。学生として学びリカバリーの経験を積んだ方には、次の段階として講師としての道が開けます。このような循環を繰り返すことで、地域全体が元気になるようなリカバリーカレッジを、私たちは目指しています。日本ではまだ認知度が低いリカバリーカレッジですが、英国では国策としての取り組みが進み、欧米など世界中に広がっています。私たちも、活動を通して多くの方の心が元気になるサポートをさせていただき、将来はどこに住んでいてもリカバリーカレッジが実践できるような地域づくりを進めていきたいと考えています。



NPO法人 街カフェ大倉山ミエル
(横浜市港北区)

理事長 鈴木 智香子 385,000円

【助成した事業・活動】

不登校の子どもたちに自由な居場所をつくる活動

【団体紹介】

★設立年月

2010年11月

★団体の目的・活動内容

- ①1歳から105歳の多世代が集まり、交流できる自由な居場所作り
- ②大倉山地域のハブ機能
- ③コミュニティ活性化支援



★団体情報

住所 : 横浜市港北区大倉山4-36-26
TEL : 045-717-6778
Mail : miel.okurayama@gmail.com
URL : <https://cafemiel.jimdofree.com/>

【助成を受けて…の思い・メッセージ】

私たちは2024年5月より、不登校の子どもたちが安心して過ごすことができ、様々な体験や人との交流を通して自己肯定感を高めることができる居場所を目指して、フリースクールを始めました。特に屋外での活動に力を入れていて、畑活動や登山、ボランティア活動などを通して、学校に行っていない子ども達も沢山の体験ができる環境を作っています。そしてこの活動を支えていただいているのが福祉たすけあい基金です。この助成金のおかげで、こうした活動に必要なインフラの維持やスタッフの配置が可能となり、安心して安全な環境を整えることができました。この支援により、多様なニーズを持つ子どもたちが、自分らしく成長できる場が確保されるとともに、地域全体が連携して子どもたちの未来を支える体制を作ることができていると実感しています。今後もこのご支援を大切に、さらなる学びと成長の機会を広げていけるよう尽力いたします。



NPO法人 いごこちよか (相模原市緑区)

理事長 藤田 由美子 426,600円

【助成した事業・活動】

障害児者等を中心とした様々なグループ活動の実践を通して、障害児者等が互いに育ち合い、成長し、支えあうことができるような余暇活動の充実を図る活動

【団体紹介】

★設立年月

2018年5月(任意団体)
2024年3月(NPO認可)

★団体の目的・活動内容

障害児者等を中心とした様々なグループ活動の実践を通して余暇活動の充実に関する事業を行い、障害児者等の福祉の増進を図り、学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図ることに寄与することを目的とする。

★団体情報

住所 : 相模原市緑区下九沢274-32
TEL : 042-763-6381
FAX : 042-763-6381
Mail : igokochiyoka@gmail.com
URL : <https://igokochiyoka.com/>



【助成を受けて…の思い・メッセージ】

任意団体から、NPO法人設立・活動継続という大事な時期に、助成を受けることができ本当に嬉しく思っています。任意団体での5年間に実践してきた「いごこちよい余暇支援の活動場所」が更に多くの方に認知され発展していくよう活動を展開していきたいと思っています。余暇活動の内容を幅広く提供し、講師陣は専門家に依頼しどんな方が参加しても満足感の得られる活動を作りたいと考えています。そのための貴重な支援が今回の基金からの助成金になります。障害児が成人後、ご本人にとってもご家族にとっても豊かで健康的な余暇を過ごしていけるような様々なジャンルの講座を設定し、障害児者だけでなくどんな立場の方々にも気軽に顔を出しただけのように広報活動にもできる限りの力を発揮していきたいです。



NPO法人 ハイテンション (厚木市)
理事長 柏 哲 396,576円

【助成した事業・活動】

年齢や世代、障害の有無や国籍などを問わず様々な人との交流の場、「スロバフェス」の開催

【団体紹介】

★設立年月

2011年2月



★団体の目的・活動内容

音楽をはじめとする芸術の自由の精神を礎に、社会参加に課題がある人達を中心にひろく一般の人達に対して、芸術活動に関する事業及び障害福祉サービス事業を行い、個々人の特性を生かし自立した豊かな暮らしを、地域社会で営むことに寄与することを目的としています。

★団体情報

住所：厚木市旭町2-9-15

TEL：046-281-7737

URL：<http://hitension.org/>



【助成を受けて…の思い・メッセージ】

この度は当法人の事業に助成頂き誠にありがとうございます。今回の助成を最大限に活かし、当法人が普段から行っている音楽活動やアート活動を地域に還元し、コロナ禍以降開催出来ていなかった当法人の放課後等デイサービス主催の音楽イベント「スロバフェス」を復活させ、開催する事で障害のある人の社会参加の促進、余暇の向上や障害への理解の向上、また、地域の人同士の交流のきっかけになればと思っています。イベントを安全に開催させる事、そして、イベントを継続的に開催出来るような仕組みを作る事に尽力していきます。社会参加に課題のある人や広く一般の人たちが芸術表現活動により地域の中で豊かな暮らしを営めるように今後とも邁進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



THEアート・プロジェクト 多文化読み聞かせ隊

(川崎市高津区)

代表 三沢 範子 460,000円

【助成した事業・活動】

障がいのある方たちが中心になって演じる
「かぐやひめ」



【団体紹介】

★設立年月

2011年5月

★団体の目的・活動内容

多文化共生の視点から、地域や国の文化の違いとともに、障がい有無も文化の違いととらえ、様々な価値観を持つ人たちが、ともに豊かに生活できる社会を目指して活動しています。

★団体情報

Mail theapro@gmail.com

URL <https://www.theartproject.jp>

【助成を受けて…の思い・メッセージ】

この度は、助成をいただき、心より感謝申し上げます。知的障がいのある若者を中心とした市民グループ「つながり隊」はダンス、パントマイム、打楽器奏者、能楽師など、プロの指導者の指導を仰ぎながら、いくつかの劇を発表してきました。今回「かぐや姫」をやりたいという声を受け、発表につなげたいという思いが、この助成を受け「『かぐや姫』をやろう!」という強いうねりに変わりました。今回、医療ケアを必要とする障がいのある方達の力や、もっと多くの方々の力を受けながら、「かぐや姫」の劇の発表を成功させたいと思います。応援お願いいたします。



特定非営利活動法人 ぐるーぷ・ちえのわ

(横浜市戸塚区)

理事長 奥山 雅子 200,000円

【助成した事業・活動】

不登校児童生徒の多様な
学び・交流の場づくり活動



【団体紹介】

★設立年月

2022年4月(法人設立)

★団体の目的・活動内容

NPO法人ぐるーぷ・ちえのわが行う二つの事業。

①子ども若者支援事業・・・学習支援・余暇支援・相談活動等。障がいの有無に関わらず子ども・若者たちが、生き生きと活動できる場をつくることをめざす。

②地域の広場事業・・・介護予防の事業(横浜市介護予防生活支援サービス補助事業)カフェ運営、カルチャーひろば等。地域の多世代の方たちの居場所となることをめざす。

★団体情報

住所 : 横浜市戸塚区小雀町1115-1

TEL : 045-410-6218

Mail : chienowa2022@gmail.com

URL : <http://chienowa.s1010.xrea.com>

【助成を受けて…の思い・メッセージ】

この度、本助成を受けることができて、「不登校児童・生徒の多様な学び・交流の場づくり」の活動への大きな励みとなりました。学校に居場所が見出せず、不安や悩みを抱えた子どもたちにとって、ちえのわホームが安心して過ごすことが出来る場所となり、活動を通して自信や元気を取り戻し、新たな活動や学習に取り組んだりする意欲が生まれるよう、工夫や努力を重ねていきたいと思います。又、保護者同士の情報交換や、子どもたちの小集団活動への参加など、新たな試みへの、本助成による貴重なご支援に感謝致します。



特定非営利活動法人 スペースナナ

(横浜市青葉区)

代表理事 柴田 暁子 375,000円

【助成した事業・活動】

市民活動における担い手育成事業

【団体紹介】

★設立年月

2010年12月



★団体の目的・活動内容

世代や性別、障がいのあるなし、国籍などにかかわらず、だれもが安心して立ち寄り交流できる場をめざしてコミュニティカフェを運営。ギャラリースペースやショップ、地域文庫などを併設している。〈社会を変えるたまり場〉として講座やイベントを通じて情報発信し、集い・語り・遊ぶ場を提供するほか、居場所立ち上げの支援や地域の身近な相談場所として、中間支援的な役割も担っている。

★団体情報

住所 : 横浜市青葉区あざみ野1-21-11

TEL : 045-482-6717

Mail : spacenana@gmail.com

URL : <https://spacenana.com>

Instagram :

https://www.instagram.com/space_nana77/

【助成を受けて…の思い・メッセージ】

この度は助成いただき、ありがとうございます。スペースナナは設立から14年を迎え、ここ数年は若い世代のチャレンジを応援しながら、多世代のメンバーで運営することに取り組んでできました。居場所やコミュニティづくりの活動をしている近隣の他団体ともつながりを持ちながら、情報交換や課題の共有、学習会なども行っています。日々活動をつづけるなかで、なんらかの困りごとを抱えて訪れる人たちが、互いに支え励まし合いながら元気になっていく姿を見ていると、市民活動や地域活動の大切さを実感します。

これからも途絶えることなく、次世代につないでいきたいとの思いから「市民活動における担い手育成事業」を始めます。連続講座の開催を通じて、当団体も中間支援機能の整備や、地域ネットワークの強化に取り組んでいきますので、引き続き応援のほど、よろしくお願いいたします。



GIVE SUPPORT

[illegible]

財団運営を支える賛助会員のお願い

■賛助会員になり財団を応援してください。 

<賛助会費>

公益財団法人かながわ生き生き市民基金は、助成事業（福祉たすけあい助成、オーダーメイド助成、事業指定助成）、研修・セミナー事業（フォーラム開催、報告書発行）、相談・助成事業、遺贈・生前寄付受付等を行っています。かながわ生き生き市民基金は、当財団の活動を継続的に支援して下さる「賛助会員」を募集しています。賛助会費は財団の運営に活用します。賛助会員としてかながわ生き生き市民基金への応援をお願いします。以下のURLまたは右のQRコードからのフォームで申し込みください。別紙の用紙にご記入されたものを財団にFAXして頂いても結構です。

<https://lively-citizens-fund.org/sanjo>

個人会員 年会費 (1口1,000円) 1口以上
法人・団体会員 年会費 (1口10,000円) 1口以上

- 賛助会費は当財団への寄付となり、**税制優遇処置の対象となります。**
- 賛助会員として支援いただくと下記のような特典があります。

<会員特典>

- 年次報告書の送付
- 助成団体報告書「福祉たすけあい基金BOOK」の送付
- フォーラム報告書の送付
- 当財団が企画開催するイベントへのご招待（フォーラム、贈呈式など）



賛助会費について



申込

ご氏名*	(フリガナ)		
(法人／団体名)			
ご住所*	〒		
TEL*		FAX	

☐ 個人会費	申込口数 () 口 1口1,000円以上、何口でも ※会員の期間は、4月～翌年3月となります。	税額控除のための領収書発行 ※確定申告で必要な領収書の発行
		☐ 必要 ☐ 不要
☐ 福祉たすけあい基金	申込口数 () 1口1,000円以上、何口でも ①年間寄付登録 ②任意寄付(振込)	





発行：公益財団法人 かながわ生き生き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル6F
Tel: 045-620-9044 Fax: 045-620-9045
Mail: info@lively-citizens-fund.org
URL: <https://www.lively-fund.sakura.ne.jp>
Facebook: <https://www.facebook.com/livelycitizensfund>
発行日：2024年12月1日